

令和7年 駒ヶ根市教育委員会 第14回定例会 次第

令和7年10月28日(火) 午後2時30分
駒ヶ根市役所 保健センター2階 大会議室

- 1 開 会
- 2 教育長報告 P1
- 3 事業報告及び事業計画 P4
 - ・ 定例会教育委員会 11月25日(火) 午後2時 保健センター2階 大会議室
- 4 審議案件
- 5 協議事項
- 6 報告事項 別紙
 - (1) 全国学力・学習状況調査の結果について【非公開】 P6
 - (2) 行事共催等承認申請の専決処分について
- 7 その他 P7
 - (1) 令和7年度上伊那社会教育関係者懇談会について
- 8 閉 会

令和7年 第14回駒ヶ根市定例教育委員会

10月1日より本職に就いてから、目まぐるしく展開する多数の公務に追われる毎日。「あっという間の1ヶ月でした」というのが率直な感想です。一校を任された校長職時代の経験も引きずったり活かしたりながら、教育行政を加えた教育長職にはまだまだ遠く及ばずのところがりますが、教育委員の皆様方、教育委員会事務局の皆様方にご助言いただき、職責を果たしていきたいと思ひます。

とは言っても、私のベースになっているものは教諭・教頭・校長時代に学び培ったものです。教職を退いてから1年半、また昨年からは部活動地域展開を担当していたこともあり、小中学校の先生方とも比較的情報交換し易い関係でもありましたので（駒ヶ根市の小中学校にはかつての同僚もたくさんいます）この強みを活かすことも、大切なマネジメントの一つと考えています。

二つの校長室と駒ヶ根市教育長室から

1 諏訪郡原村立原中学校校長室

看 脚 下 （津金雀仙）

校長室には、原村八ツ手地区出身・津金雀仙先生の「看脚下」の書が、校長机正面に見える位置に掛けてあります。「看脚下」の意味は言うまでもありません。「自分の足下を見る」＝「自分の足下を顧みる」＝「我が身や我が心を振り返り、自分が今どういう立場にいるかをよく見極めて事に当たる。」ということです。

しかしながら、自分を見つめることは少々難しいことでもあります。「心ここにあらざれば見えず。見えるものも見えず。」どんなに忙しい時でも、心のゆとりが大切です。あるべきところに物がある、机の上、ロッカー、傘立てが整頓されている。忙しさの中でもきちんと揃える。気づいたらそっと揃えておく。そうするとみんなの心が落ちつく。心にゆとりができる。

2 宮田村立宮田中学校校長室

山と語り 流に思ひ 風に聞き 雲と遊ぶ

うるはしき心のしらべ あめつちとともに （唐木順三）

我々は自然の中で生かされることに感謝し、故郷を誇りに思いながら精一杯人々のために生きていこう。

宮田村出身、郷土の哲学者唐木順三先生の「書」が校長室正面の中央に掲げられています。生徒昇降口脇には同様の「歌碑」が建立され、宮田中学校を永きにわたり見守り、学校生活の道標として位置づいています。

市役所駐車場から駒ヶ岳の山頂・遠くの空を見上げると、「風に流れ、瞬間・瞬間で形を変える雲と背景の青い空。宮田中学校校長室にある「山と語り 流に思ひ 風に聞き 雲と遊ぶ・・・」の書を思い出す時間。自然な姿の大切さや、こういう時間（ボーとする時間）を自分で作り出すことの大切さを感じながら・・・子どもたちも我々大人も「自然な姿」でいる時間がやはりいい。

「自然な子どもの姿」ということに関係しますが、「子どもを見る」ということについて、長野県教育委員会教育長武田育夫先生（元信濃教育会会長）は、雑誌「信濃教育」で以下のように触れています。

人は皆 望む答えだけを聞けるまで 尋ね続けてしまうものだから

望む答が聞けるまで尋ねて続けてしまう人の常。それは望まない答は聞きたくない。聞こえないということでもある。「聞けども 聞こえず」である。

「子どもをよく見る」という。望む姿を聞きたいのと同じように、自分の望む姿を見たいと思っているとき、よく見ているようでいて実は本当の子どもを見ようとしていないのではないだろうか。それがやはり人の習性であろう。「見えども 見えぬ」である。こうなってほしい、こんな力をつけてほしいと願うとき、どうしても子どもの見たい姿を追い求めてしまう。そうすると、子どもまるとは見えない。よく見ているようで、見ていないのである。 (中略)

では、どうしたらいいのだろうか。

まずは、独りよがりの見方にならないために、他の人が見ているものを知ることである。他の先生には同じ子どもや授業がどのように見えているかを知り、自分の見たものと比較検討してみるのである。時間を削ってまでして研究会や研修会に参加する一つの意味はここにあるのだろう。

3 駒ヶ根市教育長室から・・・(まずは1ヶ月経って感じていることを中心に)

「内から育つ ひたむきな子」 = 生きる力(自走)の育成

※「内から育つ」力とは・・・求める心を持って、主体的に判断し、最後まで自己の責任において追究し抜く資質や能力のこと。

※「ひたむき」とは・・・とことん、専(せん)心(しん) (=一つのことに心を集中) すること。

(1) 根底にあるもの・・・「学力観」に係る視点から(学力の三要素：学習指導要領の中で明示)

「知識・技能」・・・事実的な知識だけでなく、それを他の知識と関連付けて理解し、活用できる状態を指す。(単なる暗記ではなく、実際の場面で使える知識・技能。)

「思考力・判断力・表現力」・・・得た知識や技能を基に、自分で課題を発見し、情報を収集・分析して、自分の考えをまとめ、他者に分かりやすく伝える力。

「主体的な学びに向かう態度」・・・自ら課題を見つけ、意欲的に学習に取り組む姿勢。他者と協力しながら学びを深めていく態度。

*従来の学力試験だけでは測れない多角的な学力を評価するため。(高大接続改革の観点から)

*変化が激しく、複雑化する社会を生き抜くために必要な「生きる力」を育む。(現代社会への対応の観点から)

*元長野県教育委員会教育長伊藤学司先生 「20世紀型学力・能力」と「21世紀型学力・能力」

・20世紀型学力・能力・・・決められたモノを「早く」「正しく」「従順に」

その背景は「消費大量生産」 工場型労働 ⇒ 効率化の追求。

・21世紀型学力・能力・・・新しいモノを「創造する力」 臨機応変に「適応・対応する力」
他と「協働する力」 「考える力」 「発信する力」 「議論する力」

学習指導要領・・・「主体的、対話的で深い学び」

(2) 各学校の教育(グランドデザインより) 「内から育つひたむきな子の育成」との関連項目

・中沢小学校・・・「自分の考えをしっかりと持ち、発表する」「人の考えをしっかりと聞き、考えを深める」「粘り強くやり抜く」「自ら気づき物事に本気で取り組む」「相手の気持ちを大切にし、助け合う」「誰とも明るいあいさつする」

・東伊那小学校・・・「友とかかわり、よく考え、表現する」「感性豊か、明るく思いやりのある子」「健やかな心と身体、粘り強く取り組む子」

・赤穂小学校・・・「探求しよう(なんだろう?確かめよう)」「響きあおう(一緒にやろう、助かったよ)」「挑戦しよう(やってみよう、がんばってるね)」

・赤穂東小学校・・・「自分の考えを持ち」「自分で決めて」「自分から動き出す」

・赤穂南小学校・・・「元気に(個に応じた教育活動)」「優しく(自他を大切に、体験的・協働的な活動)」「ねばり強く(もっと調べたい、対話的・探究的な学びの創造)」

・東中学校・・・「自ら探究する力(課題設定力、見通しをもって解決する力)」「地域との共育」

- (ふるさと学習、農・林・伝統工芸体験、キャリア教育、部活動地域展開)」「東中スタンダード(自分の考え・意見を持ち、気づきや発見を行動に移す力、自ら考え実行する家庭学習)」
- ・赤穂中学校・・・「関係を捉える力 高め合う力 立ち向かう力(プロセスを大切に、探究的な学びを創造する)」「協働的な学びと、個別最適な学び」(自らの学びをデザインする力を育み、家庭学習に活用)

(3) 駒ヶ根市の学びの一例・・・駒ヶ根市校長会でも共有します。

10月8日(水)上伊那教育研究会Ⅲ(赤穂中学校会場:探究的な学び「国語」(古典:扇の的)では、平家物語(扇の的)に関係する様々な資料を手掛かりにして、登場人物(那須与一、源義経、平敦盛、木曾義仲、源頼朝)の生き方・考え方を追究し、友と意見交換する活動を通して多くの考えを比較・検討し、新たな気づきや考えの深まりを実感する1時間でした。

私の見ていた生徒さんは、「与一は義経に命令されて小舟の扇を射ることになったが、本当は自信もないし、やりたくない。確実に射抜けるものに命じてほしいとお願いしたが、受け入れられず仕方なく矢を射った。(もしも射損なえば弓を折って自害する覚悟で。)大将の命令には逆らえない。」といった考え(思い)を持っていました。授業中盤～後半に義経を追究してきた友達と意見交換したところ、「義経は与一のことを本当はとても信頼していた。与一しか扇の的は射抜けないと思っていた。義経の思いが分かった・・・。」といった考え(思い)にたどり着きました。新たな気づき、学びが具体的な姿として現れた1時間でした。これで平家物語がまた違った思いで読み込めるのではないのでしょうか。

この生徒さんの姿から、「学ぶ」ということについて次のようなお話を思い出したので紹介します。「内から育つひたむきな子の育成」の「学び」に係る私の思いでもあります。

たくさんの方が「同じこと」を考えていても、各自自分の考えを出し合うと当然一人ひとりの表し方は違うから、その場にたくさんの「少しずつ違う考え」が集まってくる。

そうすると、一人ひとり出てきたたくさんの考えを自分なりにまとめて、各自がそれなりに納得できる「私の今の考え」にたどりつく。

一人ひとりの「今の考え」は、いずれまたたくさんの人たちの考えや新しい見方にふれて考え直され変わっていくし、たぶんもっとよくなる。学ぶとはこういうことの繰り返し。

三宅なおみ先生 元東京大学大学院養育研究科

「がんばれ」「がんばれ」と言っているだけでは子どもは動きません。「考えてみよう」というようなことを言いさえすれば、子どもが考えると思っているところに落とし穴があります。

「考えてみよう」なんて言わなくたって考えたくなるような、「友達同士で意見交換してみよう」と、言われる前から隣近所で相談しているような、授業の続きを家でしてみたいくなるような授業づくり(授業改善)をしていく。この繰り返しに「自ら動き出し、考えを深める子ども」が育まれるものです。「子どもの実態把握、授業の流れ、学習形態、教材研究・・・先生方は全力で工夫しています。この繰り返しだけが子どもの心を開き、主体的・対話的で深い学びにつながります。

授業の中で具体的な子どもの表現の中に形となって現れるまでの「やる気」と「粘り」こそが先生方の力量ではないのでしょうか。(赤穂中学校の探究的な学び・国語(古典)の授業から感じたことです。)

このような思いを持っている先生方がたくさんいる学校。駒ヶ根市の小中学校ではこのような先生方を育てていきたいと思っています。いずれ他の市町村に異動したとしても、「駒ヶ根市の学校で働きたい」と思ってもらえる先生方がたくさんいれば、こんなにうれしいことはありません。そういう学校にしていきたいですし、そういう教育行政を目指していきたいと思っています。

10月14日(火)JICA駒ヶ根で実施した上伊那地区初任者研修会でも「先生との出会い」の大切さが語られました。今更ですが、子どもたちにとって先生との出会い、先生の実存や一言が、今後の人生を左右することだってあります。心したいものです。

10月分 教育委員会事務事業計画

2025年10月24日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	水	10:00	教育長就任式[市役所大会議室]	全職員
		11:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
		15:00	教育委員辞令交付式[市長応接室]	教育長、教育委員、次長
		15:30	臨時教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、教育委員、次長、両課長
2	木			
3	金	9:30	市内校長会[東伊那小学校]	教育長、次長、両課長
4	土		国スポ視察[滋賀県]	市長、副市長、次長、社会教育課
5	日		十二天の森観察会[十二天の森]	社会教育課
6	月	9:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
7	火	9:30	上伊那郡市植樹祭[市内]	教育長
8	水	9:00	三カ年実施計画理事者査定[市役所第3委員会室]	教育長
9	木	9:00	三カ年実施計画理事者査定[市役所第3委員会室]	教育長
		16:00	図書館調べる学習コンクール審査会[文化センター]	教育長、社会教育課
10	金	9:00	三カ年実施計画理事者査定[市役所第3委員会室]	教育長、次長、子ども課
11	土			
12	日			
13	月	13:30	森のコンサート[十二天の森]	次長、社会教育課
14	火	9:00	三カ年実施計画理事者査定[市役所第3委員会室]	教育長、次長、社会教育課
		14:00	市町村教委初任研JICA研修[JICA駒ヶ根]	教育長
15	水			
16	木	15:30	不登校児童生徒支援委員会[市役所大会議室]	教育長、次長、子ども課
		18:30	市民総体実行委員会[保健センター大会議室]	次長、社会教育課
17	金	15:00	上伊那南部市町村教委連絡協議会総会、研修会[アルパ]	教育長、教育委員、次長
18	土		交通安全暴力追放市民のつどい[赤穂公民館]	
19	日	7:45	十二天の森整備作業[十二天の森]	市長、社会教育課
		8:00	中沢区民運動会[中沢小学校グラウンド]	教育長
		8:30	東伊那区民運動会[東伊那小グラウンド]	市長
20	月	9:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
21	火			
22	水	13:15	伊那養護学校PTAとの懇談会[市役所大会議室]	教育長、次長、子ども課
23	木	9:00	3ヶ年実施計画理事者まとめ[第3委員会室]	教育長
24	金			
25	土			
26	日		図書館調べる学習コンクール表彰式[文化センター]	社会教育課
27	月	14:30	県 都市教育長会議[岡谷市]	教育長、子ども課長
28	火	9:00	職員採用試験選考会[市長応接室]	教育長
		9:00	定期監査[市役所第5会議室]	次長、両課
		10:30	部課長会[市役所大会議室]	教育長、両課長
		14:00	定例教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、教育委員、次長、両課長
29	水	13:00	上伊那市町村教委連絡会[伊那合庁]・教育長部会	教育長
30	木	10:30	キャリアフェスIN駒ヶ根[赤穂中]	教育長、子ども課長
31	金		東伊那文化祭[東伊那公民館]～11/2	
		10:30	来客(寄付:セイコーエプソン株)[市長応接室]	市長、次長、子ども課

11月分 教育委員会事務事業計画

2025年10月24日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	土		すずらん文化祭[赤穂公民館]中沢公民館文化祭[中沢公民館]～2	
2	日			
3	月		県中学駅伝	
4	火	9:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
		17:45	給食財団理事長退任・就任式[保健センター乳幼児指導室]	教育長、子ども課長
5	水			
6	木	19:00	青少年育成委員会研修会[南庁舎大会議室]	社会教育課
			信教全県研修会[赤穂小]	教育長
7	金	9:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
		13:30	駒展オープニングセレモニー[博物館]	教育長、社会教育課
		19:00	県縦断駅伝上伊那チーム結団式[伊那市役所]	教育長
8	土			
9	日			
10	月	9:30	市内校長会[赤中]	教育長、次長、両課長
		15:30	特別支援コーディネーター連絡会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
11	火			
12	水	9:00	県青少年育成委員長・育成センター所長研修会[松本市]	社会教育課長
			県市町村行育委員会代議員会[長野市]	教育長職務代理
13	木	10:30	飛騨市学校OT視察[飛騨市神岡小]	教育長、次長、子ども課
14	金	13:00	上伊那社会教育関係者懇談会[伊那公民館]	教育長、教育委員、社会教育課
		16:00	日本体育大学連携自治体フォーラム[東京]	次長、社会教育課
15	土			
16	日		青空すくすく広場[すずらん公園]	子ども課
		8:30	市職員採用試験二次[市長応接]	教育長
			県縦断駅伝[駒ヶ根中継所]	社会教育課
		13:30	ジュニア駒展表彰式[文化センター]	教育長、社会教育課
17	月	9:00	庁議[市役所大会議室]	教育長、次長
		13:30	就園就学支援委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課
18	火	17:30	教職員組合要求書提出[保健センター乳児指導室]	教育長、次長、子ども課
19	水	14:00	学校通学路安全推進会議[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課
20	木	10:00	文化財審議会[中沢公民館]	教育長、次長、社会教育課
		15:30	文化財団理事会[文化センター]	次長、社会教育課
21	金	10:50	郡教頭会[南小]	教育長
		18:30	信州駒ヶ根ハーフマラソン実行委員会[南庁舎大会議室]	市長、次長、社会教育課
22	土			
23	日	13:00	ロッジ中岡さんと一緒にホッケーをしよう！Part2[ふるさとの丘ドーム]	社会教育課
24	月			
25	火	14:00	定例教育委員会[本庁舎大会議室]	教育委員、教育長、次長、両課長
26	水	10:00	部課長会[市役所大会議室]	教育長、次長、両課長
27	木	9:00	議会全員協議会(予定)	教育長、次長
28	金	10:00	12月議会開会(予定)[議場]	教育長、次長
29	土			
30	日			

R7-10 定例教育委員会報告

行事共催等承認申請一覧(専決分報告)

区分	受付番号	行事の名称	団体名	開催日	開催場所	承認	備考
後援	7-106	秋季 上伊那交流戦	長野県高等学校野球連盟 南信支部上伊那地区	令和7年10月18日(土)～10月25日(土)	駒ヶ根アルプス球場、伊那スタジアム、赤穂高校グラウンド他	承認	
後援	7-107	第32回みなこいワールドフェスタ	第32回みなこいワールドフェスタ実行委員会(駒ヶ根協力隊を育てる会)	令和7年10月17日(金)～10月26日(日)	飯島町、中川村、宮田村、駒ヶ根市	承認	
後援	7-108	演劇による未来創造プロジェクト ネクストシアター 2026 中高生演劇ワークショップ	劇団サムライナッツ	令和7年10月25(土)～令和8年3月22(日)	駒ヶ根市文化センター、赤穂公民館	承認	
後援	7-109	第34回花の道杯 小学生バレーボール交流会	長野県小学生バレーボール連盟 上伊那支部	令和7年11月23日(日)	社会体育館、赤穂中学校体育館	承認	
後援	7-110	FRESCOBALLALPS 11月体験会	FRESCOBALL ALPS	令和7年11月15日(土)	おもしろかつば館 かつば広場	承認	
後援	7-111	第9回 食糧支援	つながる食堂おいでなんし子供食堂	令和7年10月26日(日)	ふれあいセンター 集会室	承認	
後援	7-112	第73回 上伊那郡縦断駅伝競走大会	上伊那ケーブルテレビ協議会、上伊那陸上競技協会	令和7年11月30日(日)	駒ヶ根市役所～辰野町役場間の公道(6区間)	承認	
後援	7-113	映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」上伊那上映会	上伊那上映実行委員会	令和8年1月17日～2月7日	赤穂公民館、いなっせ	承認	新規
後援	7-114	里親さんと出会う日	認定NPO法人 フリーキッズ・ヴィレッジ	令和7年11月29日(土)	赤穂公民館	承認	
後援	7-115	カノラータ・オーケストラ 第29回定期演奏会	カノラータ・オーケストラ	令和8年2月1日(日)	岡谷市文化会館 大ホール	承認	

共催 0 件
 後援 10 件
 協賛 0 件
 10 件

うち新規
 1 件

承認 10 件
 不承認 0 件
 協議中 0 件
 10 件

令和7年度 上伊那社会教育関係者懇談会 開催要項

- 1 趣 旨 上伊那地区の社会教育関係者が一堂に会し、社会教育、生涯学習のあり方について研修及び懇談を行うことによって理解を深め、その具体的推進を図る。
- 2 主 催 上伊那公民館連絡協議会（主管）
上伊那市町村教育委員会連絡協議会
上伊那地区社会教育委員連絡協議会
- 3 共 催 伊那市教育委員会、南信教育事務所
- 4 期 日 令和7年 11月14日（金）
- 5 会 場 伊那公民館 伊那市中央5052 Tel 0265-78-3447
- 6 テーマ 「人と地域のつながりを深める社会教育の在り方
～地域を盛り上げ、ふるさとをつくる大人のまなび～」（仮）

7 日程と会場

13:10 13:30 13:45 13:50 14:50 15:05 16:10 16:20

受 付	開会 行事 (2階講堂)	全体会 【実践発表】60分 (2階講堂)	休 憩	分散会65分 (各研修室等)	閉会 行事 (各分散会場)
--------	--------------------	----------------------------	--------	-------------------	---------------------

(1) 開会行事（主催者挨拶 他）

(2) 全体会 実践発表

- ① のん兵衛「みやさん」の村がつながる酒の会
発表者：宮田村公民館
- ② 子ども・地域に元気を～中沢の夏まつり～
発表者：駒ヶ根市中沢公民館

(3) 分散会

- ・自己紹介
- ・実践発表の感想
- ・テーマについて意見交換（小グループ）
- ・分散会内での情報共有

(4) 閉会行事（各グループごと、感想記入をする時間含む）

8 参加者

(1) 市町村関係の皆さん

- ① 各市町村教育委員会
- ② 各市町村教育委員会事務局
- ③ 各市町村社会教育委員
- ④ 各市町村公民館職員

(2) 一般の皆さん

- ・ 学校職員 ・ PTA関係者 ・ 幼児教育、子育て支援関係者 ・ 公民館関係者
- ・ 社会教育、地域づくりに関わる皆さん

9 参加申込みについて

伊那市・駒ヶ根市は教育委員会または公民館ごとにとりまとめ、他の町村教委・公民館は公民館でまとめ、学校・PTA、その他の団体はそれぞれでまとめて別紙様式にて申し込んでください。

申し込み提出先〔南信教育事務所 学びの共創課 担当：南波〕

FAX 0265-76-6859 Eメール namba-shiyuji@pref.nagano.lg.jp

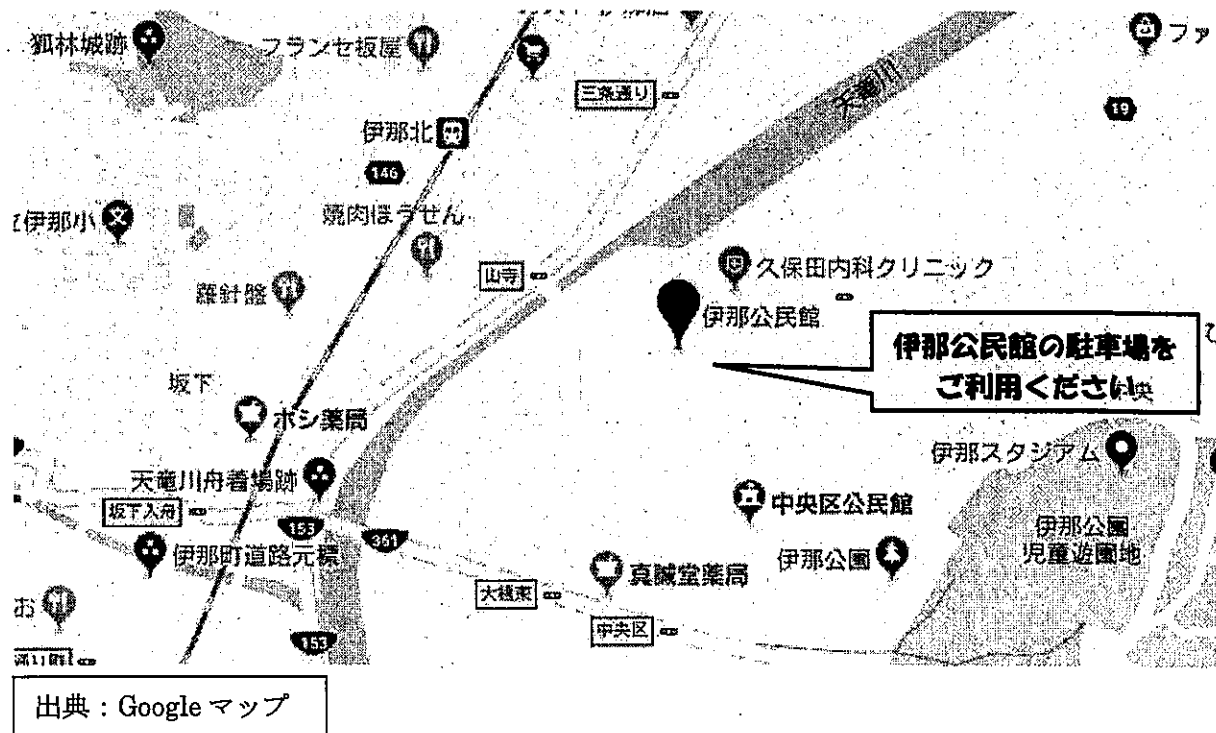
TEL 0265-76-6861

※申し込み締め切り 11月4日(火)〔名簿掲載期限〕

10 その他

- ・ 参加者各自で飲み物をご持参し、水分補給を適時にお願ひします。
- ・ 分散会のグループ分けについては、当日受付にてご確認ください。
- ・ 全体での懇親会は行いません。
- ・ 可能な範囲で乗り合わせをお願いします。

【会場周辺の略図】



(問合せ先)

担当 長野県教育委員会事務局南信教育事務所
総務課 三輪
学びの共創課 南波

電話 0265-76-6861

FAX 0265-76-6859

電子メール (代表) nanshinkyo@pref.nagano.lg.jp

(個人) namba-shiyuji@pref.nagano.lg.jp